

本歯科麻酔学会と都道府県歯科医師会等共催による バイタルサインセミナーにおけるコアカリキュラム

一般社団法人 日本歯科麻酔学会 地域医療委員会

1. 治療前の患者全身状態の把握、全身評価について

- 医療面接により患者情報を的確に収集すること
(既往歴から全身疾患および治療歴、加療状況の聴取)
- 他科医師との有機的な連携により、必要な対診・照会により患者情報を的確に収集すること
(他科医師にする紹介状・対診書の書き方、および必要な情報の得方)
- 常用薬剤、全身疾患加療について正しい知識を持ち、かつ定期的に更新すること
(患者常用薬剤の歯科的副作用 全身疾患治療法の概況およびトレンドの把握)

2. 治療中の全身状態監視（モニタリング）について

- 基本的なバイタルサイン（血圧、脈拍、呼吸数、SpO₂）について、意義・正常値などを正しく解釈、評価すること
(血圧や脈拍とはどうやって測るか、異常値の示すものは何か)
- パルスオキシメータの測定値、測定目的を正しく理解すること
(SpO₂ が本来呼吸状態を示すパラメータであることをまず理解する。次に、歯科におけるパルスオキシメータの意義は、脈拍と脈波の把握にもあることを理解する。「パルスオキシメータで何を測っているのか？」という問いに正確に答えられるようになることが目標)
- 術中バイタルサインに変動を与える局所的、および全身的因子を正しく理解すること
(局所麻酔、疼痛刺激、さらには印象採得などの歯科治療行為によるバイタルサインの変動状況を知っておく)

3. その他

- モニタリングの体験（協賛医療機器メーカーのご協力による）
- 患者急変時の正しい対処方針を、院内システムとして整備できること
- 地域の後方支援医療機関（病院歯科など）について、実情を把握すること